

東亜電化(盛岡)に経産大臣表彰

産学官連携で技術開発

盛岡市玉山区の東亜電化(三浦宏社長)は18日、東京都内で産業財産権制度を活用した優良企業として2011年度の経済産業大臣表彰を受けた。産学官連携による技術開発で東北で唯一の受賞。

同社は県工業技術センター、岩手大などと産学官連携で共同研究し、接着性に優れた硫黄有機化合物・トリア

ジンチオールを用いて金属と樹脂の一体化を実現。自動車部品や電子部品の高性能化、低コスト化に貢献した。

また、発光ダイオード(LED)や医療機器分野など精密機器分野の金型を製作する際、はがれやすくする離型性に優れた薄膜形成技術「TIERコート」も開発。昨年8月には特許を取得した。

三浦社長は「グローバル化の流れに乗り大手企業がものづくりの拠点を海外にシフトする中、従来にない『オンリーワン』の技術を岩手から世界に発信していきたい」と意気込む。